

会 議 録

会 議 の 名 称	南中学校区 学校運営協議会	
開 催 日 時	令和8年7月3日（金） 午後1時30分 ～ 午後2時50分	
開 催 場 所	上尾市立南中学校 図書室	
議長(会長) 氏名	会 長 加藤 義隆 松本 晴光 丹羽 純子	
出席者 (委員) 氏 名	※別紙の通り	
傍聴者	0 名	
議 題	(1) サマースクールについて (2) 南中学校区小中一貫の取組について (3) その他	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 承認 ・ 共通理解が図れた。	・ 今年は人数が多くなるため、日程調整が難しそうだ。 ・ 夏休みの課題をみんなでやろう、苦手なことを克服しよう、というように目的を決めて募集した方が良いのではないか。 ・ 日頃とは違った楽しい雰囲気 of 授業をしてもらえ、一番の目的である「交流」がもてるので、できるだけ多くが参加できるような日程にして欲しい。 ・ 昨年は南中が会場だったので、南中学生が部活動のついで等に参加できていたが、今年は小学校が会場のため、参加状況が心配である。 ・ 鴨川小、大谷小で別日の方が中学生の参加がしやすいのではないか。 ・ 夏休み前半、後半は会議等予定が多い。 ・ 7月の候補日に林間学校が組まれている。 ・ 各小学校で日程を検討してはどうか。 ・ 鴨川小 7/24 8/24 全学年対象 10:30～正午 ・ 大谷小 7/21 全学年対象 10:30～正午 ・ 部活動の時間と重なった場合は、顧問と生徒との調整でよいのではないか。

	・保護者の参加についてはどうか。今年度は提案通り行い、課題があれば次年度に活かしていく。
(2) 承認 ・共通理解が図れた。	・南中学校区としての、小中一貫について説明してほしい。 ・「令和 8 年度 南中学校区小中一貫教育グランドデザイン」について解説。 ・12 年前に小中一貫校の視察に行った時の報告だが、板書やノートの取り方を統一していた。小中教員がお互いに授業参観していた。このような取組により、中学生になった時にギャップを感じにくくなるようだ。 ・小中教員がお互いの学校へ出向いて授業をしてはどうか。 ・小中で校則のギャップを減らすことで、精神面の不安が少なくなるのではないか。 ・交流の機会を増やすことで、ギャップが減るのではないか。3 校一緒に交流できることはないか。 ・交流の場として地域のお祭りはどうか。 ・中学生を交えた避難所開設の防災訓練を企画している。 ・学校教育については教員に任せ、委員が納得できるようにしていただければ良い。 ・委員としては、地域に小中学生を関わらせる機会をつかっていきたい。 ・南中学校区小中一貫教育について ～何をもって一貫とするのか～ ○小中の接続強化（中1ギャップ解消）に向けて、小中合同の行事や地域イベントの開催など、学校運営協議会で、今後検討していく。 ○小と中の先生方の交流を増やすため人的配慮・加配が必要。小中で行き来できる人材がなければ、一貫教育の実態はつかめない。このままでは、絵にかいたもちになってしまう。<u>上尾市教育委員会に人的配慮・加配を要望すべきである。</u>
(3) 承認 ・共通理解が図れた。	・大地震・災害時「命を守るための72時間」についての情報提供